

・北陸地方整備局 河川部  
・富山河川国道事務所

平成20年8月6日

## 庄川水系河川整備計画(大臣管理区間)の策定について ～庄川(大臣管理区間)の概ね30年間の計画が定められました～

庄川水系では、河川法に基づき、平成19年7月に策定された河川整備基本方針に沿って、国土交通大臣が管理している区間について、今後概ね30年間の具体的な河川整備の内容を定める「庄川水系河川整備計画」が策定され、平成20年8月6日付で官報に公表されることとなりました。 今後は本計画に基づき、庄川の川づくりを進めてまいります。

### 同時発表

新潟県政記者クラブ  
新潟県政記者クラブ(新潟)  
富山県政記者クラブ



国土交通省 北陸地方整備局  
河川部 河川計画課長 山本 悟司  
代表 025-280-8880  
河川計画課直通 025-280-8958  
富山河川国道事務所  
調査第一課長 須賀 正志  
代表 076-443-4701  
調査第一課直通 076-443-4715

## ●庄川水系河川整備計画(大臣管理区間)の概要(別紙参照)

庄川は、その源を岐阜県高山市の烏帽子岳(標高1,625m)に発し、岐阜県内で尾上郷川、六廐川、大白川等を合わせて北流し、富山県に入り南砺市小牧付近で利賀川を合わせたのち砺波平野に出て、射水市大門で和田川を合わせて日本海に注いでいる。

その上流域は、飛騨山地の急峻な峡谷地形が発達し、中流域では、河岸段丘が点在し世界遺産の白川郷、五箇山をはじめとする合掌造り集落が開けている。下流域に広がる扇状地は、富山県の主要都市である高岡市、砺波市、射水市、南砺市などからなり、県内一の穀倉地帯であるとともに、交通の要衝ともなっており、富山県西部地域の社会、経済、文化の基盤を成している。今回の庄川水系河川整備計画は、河口から庄川用水合口ダム付近の約26.1km、利賀川の利賀ダム区間約6.9kmの国土交通大臣が管理する区間を実施区間としている。

庄川では、昭和9年、40年、51年、58年の洪水をはじめ、平成16年10月洪水では大門観測所において観測史上最大流量を記録するなど、度々甚大な被害が発生していることを踏まえ、洪水による災害の防止又は軽減(治水)に関しては、沿川地域を洪水氾濫による被害から防御・軽減を図るため戦後最大規模の洪水を安全に流下させることを目標とし、現在着手している下流部堤防の整備と全川にわたり洪水時の水位を下げる利賀ダムの整備をすすめるとともに、治水上のボトルネックとなっている庄川と和田川の合流部や万葉線橋梁などについて、今後、地域や管理者と調整を行い対策に着手していく。また、我が国屈指の急流河川庄川への対応や危機管理体制の強化等も着実に挙げる。

河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持(利水)に関しては、利賀ダムの整備等により流水の正常な機能を維持するとともに、庄川の流が生み出す良好な水質を保全していく。

河川環境の整備と保全(環境)に関しては、湧水によるワンド・タマリや連続した早瀬・平瀬をはじめ、多様な動植物が生息・生育する豊かな自然環境の保全と水域の連続性の確保に努めていく。また、流域の歴史、文化、風土に深く根ざしている庄川の現状を踏まえ、自然環境との調和を図りつつ、地域と連携し河川空間の利活用を推進する。

## ●策定プロセス

平成19年6月から関係地方公共団体の長、学識経験者、水防・水利使用関係者等で構成される「庄川流域懇談会」において議論され、説明会や縦覧コーナー等により寄せ域の皆様のご意見を踏まえ、平成20年3月に河川整備計画(案)がとりまとめられました。その後関係機関との調整を経て、このほど庄川水系河川整備計画が策定されました。



# 庄川水系河川整備計画(大臣管理区間)の概要

## 流域及び河川の概要、計画対象区間及び期間

- 本計画の対象区間となる下流部においても約1/200と我が国屈指の急流河川
- 本計画の対象エリアとなる下流扇状地では、ひとたび氾濫すると拡散型の氾濫形態となり広範囲に甚大な被害がおよぶ

### 流域及び氾濫域の諸元

流域面積(集水面積)

: 1,189km<sup>2</sup>

幹川流路延長

: 115km

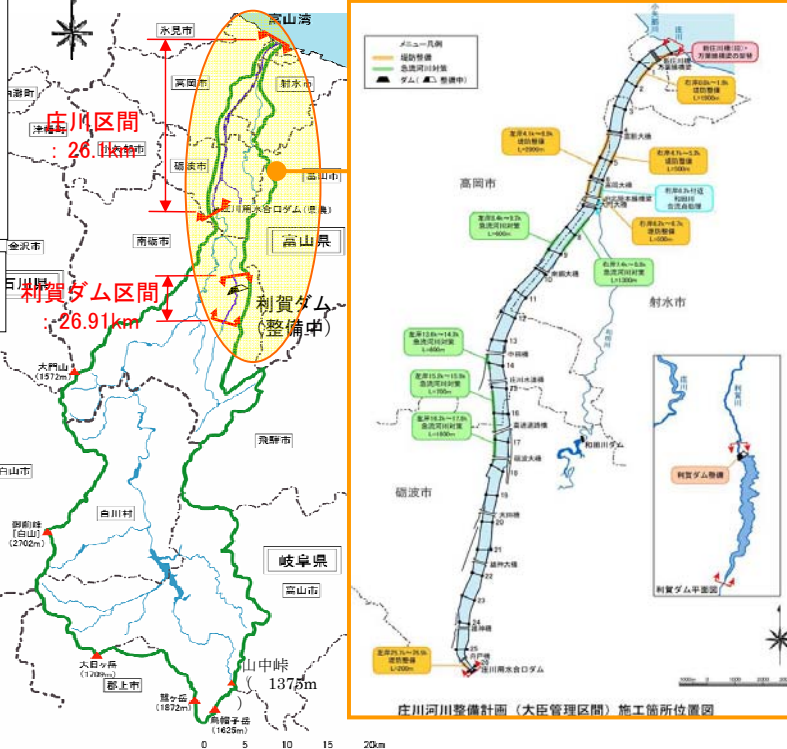
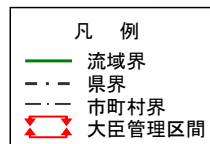
想定氾濫区域人口

: 約25.6万人

計画対象期間

: 概ね30年間

位置図



## 洪水、高潮等による災害の発生防止又は軽減

- 庄川の洪水氾濫から沿川地域を防御するため、戦後最大規模の洪水を安全に流下させる。

- ・ 堤防整備(量的・質的)
- ・ 和田川合流点処理
- ・ 橋梁架け替え
- ・ 利賀ダムの整備



下流部の堤防整備状況 利賀ダム完成イメージ図 万葉線と洪水時水位の関係

- 急流河川特有の流水の強大なエネルギーに対し、堤防の安全性を確保する。
- ハード・ソフトの両面で水防管理体制を強化・充実させ減災を図る。
- 想定される地震に対し、中小洪水に対し壊滅的な浸水被害を防止する。

- ・ 急流河川対策(根継ぎ護岸等)
- ・ 大規模地震等への対応
- ・ 霞堤の機能維持、保全
- ・ 防災情報の質の向上と伝達の迅速化等
- ・ 利賀ダムの整備(内水被害軽減)



侵食による被害(H11洪水) カラー量水板

## 河川の適正な利用及び流水の正常な機能の維持

- 合理的な水利用を促進するとともに、流水の正常な機能の維持に努める。
- 関係機関と連携し、良好な水質の維持に努める。

- ・ 利賀ダムの整備
- ・ 流況等モニタリング
- ・ 関係水利使用者間の渇水調整
- ・ 水質調査、水質事故の対応



水質調査の状況 オイルフェンス設置訓練

## 河川環境の整備と保全

- 庄川の自然環境の保全及び生物の生息・生育環境の連続性確保に努める。
- 地域の歴史、文化、自然との調和を図り、地域の要請を踏まえ、自然環境や水と親しむ活動等を普及・支援する環境づくりを行う。

- ・ 環境モニタリング
- ・ 工事による環境への影響軽減
- ・ 水域ネットワークの形成
- ・ 庄川ふれあいロードの整備
- ・ 地域の歴史・自然や施設等を踏まえた河川環境整備



湧水池 水辺の国勢調査 庄川ふれあいロード

## 河川の維持管理

- 庄川の機能を活かした効率的・効果的な維持管理を実施する。

- ・ サイクル型維持管理(監視、評価、改善)
- ・ 河道の維持管理
- ・ 河川・河川管理施設の巡視・点検、調査
- ・ 住民参加の維持管理



河川巡視(監視) 河川測量(監視) 川の通信簿(評価)